

一般質問事項一覧 9月11日（月）午前

質問者	質問方式	質問概要
<p>榮 （日本共産党大野市議団）</p>	<p>一括質問・答弁方式</p>	<p>1 社会保障としての国民健康保険について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・病気、貧困、失業など、自己責任ではどうしようもない問題への社会的対応が社会保障 ・家族や地域の助け合いでも対応できないからこそ生み出された仕組み ・社会保障を自己責任や助け合いに還流するのは歴史的逆行となる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 国民健康保険の県単位化で何が変わるか。 ○ 被保険者の保険料（税）は限界点に達している。世帯当たり1万円の値下げの実現により、地域経済に貢献をしては。 ○ 国民健康保険証の取り上げ、資格証明書の発行を廃止しては。
		<p>2 消防救急デジタル無線整備工事について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公正取引委員会が、今年2月2日に消防救急デジタル無線工事の独占禁止法違反についての排除措置命令の発表については、6月議会で質問した。 消防長の答弁によれば、違反の確定日は今年8月2日と聞いた。それまでの間に株式会社富士通ゼネラルは、東京地裁に提訴したと聞くが、確認の答弁を求める。 ○ 副市長の答弁の中で「損害賠償となりますと損害額の設定と言いますか、私どもが立証責任がございます。うんぬん…」と言っているが、民事訴訟法248条によれば「損害が生じたことが認められる場合において、損害の性質上その額を立証することが極めて困難であるときは、裁判所は、口頭弁論の全趣旨及び証拠調べの結果に基づき、相当な損害額を認定することができる」とあるが。

質問者	質問方式	質問概要
堀田（無党派）	一括質問・答弁方式	<p>1 女性・高齢者の就労支援について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市の「人口ビジョン」を踏まえ、労働力人口の減少による経済規模の縮小など、大野市の経済に与える影響の分析は。 ○ 労働力確保の観点から高齢者の労働参加の必要性は。 ○ 高齢者の労働意欲について、意識調査などによる実態把握は行っているのか。 ○ 「保育」「介護サービス」に関する人材状況は。
		<p>2 子育て支援について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市の合計特殊出生率の数値は、また評価や感想は。 ○ これまでの子育て支援について、大野市の特徴や、傾向の分析、点検・評価を行い、計画や事業等の充実、見直しに反映されたのか。 ○ 大野市内で、図書館や公民館などの生涯学習施設において、子育て中の女性の託児サービスなどの取り組みは。 ○ 中小企業庁の「地域・まちなか商業活性化支援事業」の補助金を活用して子育て支援施設整備などの事例があるが、活用の予定は。 ○ 「地域全体で子育てをする」という考え方についての見解は。

一般質問事項一覧 9月11日（月）午後

質問者	質問方式	質問概要
宮澤（誠和会・公明党）	一括質問・答弁方式	<p>1 災害について</p> <p>○ 中心市街地は木造りが大部分であるが、火災への対応をどのように考えるのか。</p> <p>○ 火災により住宅を消失した方への対応をどのように考えるのか。</p> <p>○ 災害時にはペット、家畜等について対処方法はどうか。</p> <p>2 障害について</p> <p>○ 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」いわゆる「障害者差別解消法」が平成28年4月より施行されたが、合理的配慮が求められ、法的義務、努力義務が措置として必要である。これに対するの考え、今後の方向性はどうか。</p> <p>○ 元来、日本の言語は日本語であるが、異なる言語いわゆる手話言語が必要な市民も一人の市民である。このことから手話の普及、市民への理解など考えると条例が必要と思うが、手話言語条例の制定をどのように考えているのか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
高田（天空おおの）	一問一答方式	<p>1 Jアラートについて</p> <p>○ Jアラートとは、どのようなシステムか尋ねる。</p> <p>○ 本市のJアラート発令時の対応を尋ねる。</p> <p>○ 各学校、保育園、幼稚園、福祉施設、病院等の対応を尋ねる。</p> <p>2 スポーツ少年団について</p> <p>○ スポーツ少年団の活動を含む現状を尋ねる。</p> <p>○ リーダー及び指導者の育成をどのように考えるか尋ねる。</p>

質問者	質問方式	質問概要
廣田（清風会）	一問一答方式	<p>1 小中学校の先行再編について</p> <p>本年3月議会において、大野市小中学校再編計画に関する請願や陳情が採択され、小中学校整備基本構想策定事業費が議会によって減額された。</p> <p>しかし、大野市区長会連合会からの小中学校再編の協議を推進する旨の申入書が議長に提出され、議会でも各会派代表者による会議にて議論を進めてきたが、学校再編に関しては、必要性を認めているものの、対案も無く議論が進まない状況である。</p> <p>上記を踏まえ、下記3点について聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 阪谷地区、乾側地区、富田地区の陳情や要望に対し、先行再編や学区の見直しについてどのような対応を取るのか。 ○ 地区別協議会を設置し、地域の実情や地区住民の意見を聞き、個々に教育環境について検討する必要があるのではないか。 ○ 協議会の構成員には、教育委員会や教員も入っていただくなど、構成員の見直しも必要だと思うがどうか。
		<p>2 市政運営について</p> <p>これからの市政運営に、影響を与えるであろう下記3点について聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「働き方改革」の取り組みの現状と効果について ○ 大野市全域が過疎地域に指定されたことによる、本市への影響について ○ 平成30年の米政策に対する本市の対策について

質問者	質問方式	質問概要
川端（新生おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 農業行政について</p> <p>○ 平成30年度からの米の生産数量の目標配分、直接支払交付金の廃止に係る今後の国・県・市の対応は、いかがなものか。</p> <p>○ 本年3月に改訂した「越前おおの型食・農業・農村ビジョン」の5つの基本方針に沿ったそれぞれの本年度の取り組みと今後特に傾注する施策はどのようなものか。</p> <p>○ 後継者の確保が困難な中山間地域における農業に対する大野市独自の補助制度を設ける考えはないのか。</p>
		<p>2 六呂師高原の活性化について</p> <p>○ 六呂師高原の活性化、とりわけペアリフト整備に向けた福井県の動向と大野市の対応はいかがなものか。</p>
		<p>3 県道皿谷大野線の整備について</p> <p>○ 国道157号バイパスの中保地係から皿谷大野線の中挾交差点の区間の整備に係る現在の状況と大野市の今後の対応についてはいかがなものか。</p>
		<p>4 小中学校の再編について</p> <p>○ 乾側地区や富田地区から早期再編を求める要望書が出た地区については、基本構想の策定にとらわれず、再編に向け早期に各地区との協議に入るべきと考えるが、今後の教育委員会の対応はいかがなものか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
高岡（天空おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <hr/> <p>○ 行財政改革と地方創生について 市長就任以来11年過ぎたが、今日まで行財政改革を進めて来られたと思うし、近年は、中央の政策もあり、地方創生に取り組みられて来られているが、今までを振り返りどのように思っているのか尋ねる。</p> <p>○ 水・水事業等について 水については過去より、地下水保全基金、湧水再生、湧水文化再生、地下水かん養、森・水保全条例等々数多くの活動。また上水道、下水道、簡易水道、農業集落排水などの施策事業を進めて来られたが、その水及び水事業についての思い、これからの考えを尋ねる。</p>

一般質問事項一覧 9月12日（火）午前

質問者	質問方式	質問概要
藤堂（誠和会・公明党）	一括質問・答弁方式	<p>1 大野市図書館の利用状況等について</p> <p>○ 図書館の利用状況を聞きたい。 蔵書数、貸出冊数、貸出人数、入館者数、開館日数等</p> <p>○ 蔵書に対する破損や、貸出しに対する事故状況を聞きたい。</p> <p>○ 活字文化の向上と安全・安心な図書館運営を図るため、書籍消毒機の導入を図ってはどうかと思うが考えを聞きたい。</p>
		<p>2 過疎地域自立促進計画について</p> <p>○ 過疎地域自立促進計画の変更による基本的考え方と対策を聞きたい。</p> <p>○ 過疎対策事業における地方債充当率は、どのようになるのか聞きたい。</p>
		<p>3 全国住みよさランキングについて</p> <p>○ 全国住みよさランキング（206位）をどのように評価しているのか聞きたい。</p> <p>○ ランキング評価を高くするための対策は、どのように考えているのか聞きたい。</p>

質問者	質問方式	質問概要
松田（天空おの）	一問一答方式	<p>1 大野市過疎地域自立促進計画について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 過疎地域自立促進特別措置法（平成12年度から32年度）で、過疎地域の要件が追加された。平成27年度国勢調査の結果に基づいて、特に「H2年からH27年の25年間の人口減少率」が21%以上に、大野市が該当する。よって大野市が過疎地域になった。 過疎から自立するために、大野市過疎地域自立促進計画が策定された。この計画に基づいて行う事業の財源として、地方債（過疎対策事業債）を発行することができる。 そこで、この計画の中で「産業の振興」の中の農業と、「医療の確保」そして「集落の整備」について質問する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 大野市全体が過疎地域になったことに対して、市長の所見を求める。 ○ 過疎債とはどのような内容の地方債なのか（林道整備事業債との違いは）。 ○ 人口ビジョンに照らして、人口減少状況等2015年を基準に、どのようになっているか（総人口・合計特殊出生率・出生数・死亡数・自然増減・社会増減について）。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 安倍政権の食料の自給率が先般38%に縮小し、また農業改革に向け農業競争力を強化するための法律や、農協機構の改革など先が見通せない状況にあることは、大野市の農業にも将来不安な状況をつくっている。 集落形成と農業は密接に関係して、その収益が改善されれば人口減少や後継者育成に良い影響をもたらすと考える。 ○ 営業力強化が求められるJA機構、そして、集荷販売機能を持ち合わせている農林楽舎と平成大野屋を考えると、協働チームのプロジェクトを立ち上げて、未来に向けた新たなブランディングと新しい活力を形成してはどうか。 ・ 安心安全な子育て支援や、安心して子どもが産める大野市の医療環境をつくらなければならないと考える。 ○ 「医療の確保」の中の現状と問題点の中で、「小児科や産科、産婦人科がない現実」に触れられていないのはなぜか。 ○ 目指す都市の骨格構造の中で、今ある地域の生活拠点をしっかり位置付けている（上庄・富田・小山・乾側など）。公民館や教育施設が集積し、歴史ある拠点として中心的な役割を持つとあるが、小さな拠点づくりから集落（地域）の活力をつくり出すということなのか。 ○ 「用途地域」と「用途以外地域」の定住と住まいの支援に差があるのはなぜか。 ○ 先日の福井新聞に親の実家と同居と近居、また孫ターンの記事があったが、「スープの冷めない距離」「近居」を深堀し、若い子育て世帯を狙う新世帯創造大野型プロジェクトの創設、充実ができないか。

	<p>2 大野市小中学校再編計画について</p> <p>・ 3月定例議会で2つの請願と7つの陳情、128万円の調査費の修正案が可決し、小学校2校新築、中学校1校新築に待ったがかかった状況にもかかわらず、市長は、新聞誌上で「最良で最善の計画であり、これからも進めていく」と言及している。市民の意向を顧みず、正式に答えていただけてないことは責任を果たされてないと言わざるを得ない状況である。</p> <p>○ なぜ、多くの市民の意向に対して、首長として答えていただけないのか。</p>
--	---

一般質問事項一覧 9月12日（火）午後

質問者	質問方式	質問概要
野村（日本共産党大野市議団）	一問一答方式	<p>1 人口減少対策・小中学校再編・学校教育</p> <p>○ 極端な学校統廃合は、さらなる人口減少を引き起こすのではないのか。</p> <p>○ 大野の基幹産業を担う人材を育成し、大野に子どもたちが残る教育とは、どのように考えているのか。</p> <p>○ 少人数教育の効果について、どのように考えているのか</p>
		<p>2 就学援助制度・入学準備金について</p> <p>○ 準要保護世帯の新入学児童生徒学用品費、入学準備金の支給が8月になっているので、実際に必要とする時期、入学前に支給することを、他市に先駆けて実行すべきではないのか。</p> <p>○ 入学準備金の支給額は、市内の小中学校の入学に必要な額に合っているのか。</p>
		<p>3 子育て支援について</p> <p>○ 小中学校の給食費に何らかの助成を行うべきではないか。例えば、第2子は2分の1、第3子以上は無料にしたら予算はどのくらい必要なのか。</p> <p>○ 子どもの医療費の一部負担金の500円をなくして、完全無料にするべきではないか。</p> <p>○ 子どもの医療費窓口無料化を、高校卒業まで拡充するべきではないか。</p>
		<p>4 国民健康保険税について</p> <p>○ 人口減少対策、子どもを産み育てやすい環境づくりの観点からも、国民健康保険税の均等割りで、実際に税負担を受け持つことのできない子どもの分の負担軽減を図るべきではないか。</p> <p>○ 資産割は併せて固定資産税も掛かるので、二重の負担となる。所得の少ない世帯には、税額負担軽減を図るべきではないのか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
兼井（天空おのの）	一問一答方式	<p>1 「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環について</p> <hr/> <p>○ 以前は大都市圏が稼いで地方へ分配する構図だったが、国も大都市圏も分配ができなくなり、所得の都市から都市への地域間移転から、将来世代から現役世代への世代間移転になっている財政状況の中、地方創生、地域再生のための最重要課題は何と考えるか。</p> <p>○ 市ホームページでは「全国的に人口減少時代が到来し、今後、加速度的な人口減少が懸念され、人口減少を食い止めるために、「まち」「ひと」「しごと」の創生を図り、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻すことが必要」とあるが、大きなポイントになっている「しごと」の部分での成果、課題はどうか。</p> <p>○ 「しごと」とは稼ぐ力のことであり、市として捉えると地域経済の活性化が最重要課題ではないかと考えるが、市全体の稼ぐ力はどのように推移しているのか。</p> <p>○ 中部縦貫自動車道永平寺大野道路が全線開通し、近年の観光地別観光客入り込み状況を見ると、まちなか観光は大きく増加しているが、平成18年の決算書から順に調べると、自主財源の約9割を占める個人市民税、法人市民税、固定資産税ともに減少しているがどう考えているか。今後の自主財源の確保についてはどう取り組んでいくのか。</p> <p>○ 9月に3年間の期限を迎える株式会社電通との相互連携協定により行われた情報発信、PR、ホームページ等のコンテンツの創造、市の認知度の向上、市民の絆の形成、誇りを取り戻すための事業のこれまでの経費を聞きたい。</p> <p>○ 重点道の駅「（仮称）結の故郷」の指定管理予定者、関係団体との協議・連携では、「まるごと道の駅ビジョン」についてソフト・ハード整備については、どのように進んでいるのか。</p> <p>○ 「地域がいかにして稼ぎ、いかにして稼ぎを地域から逃がさないか」という視点で政策を行うことが重要と考える。そこで民間の力で地域経済を活性化しようとする補正予算の「五番商店街旧Fマート解体・整備事業補助」や、先般マスコミに報道されていた七間商店街青年部の方々のこれからの取り組みと、古民家ギャラリー等整備を進めている市はどのように連携し、相乗効果をあげようと考えているか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
兼 井 (天 空 お お の)	一 問 一 答 方 式	<p>○ チャンスと捉え、旧Fマートの再整備後、その周辺に稼げるビジネスが集積するようにPRや規制緩和を行い、常に勢いのいいものに更新されていけば、そのエリアの人通りも増え、さらに周辺で面白いビジネスモデルの事業をする人が増えて、民間の力でまちを変える、活性化できるようになると考えるかどうか。</p> <p>○ これまでの取り組みで、県内では名水のまちで4酒蔵の日本酒、白山やまぶどうワイン、里芋を使った焼酎がある市として認知されている。 「地酒で乾杯を推進する条例」の次のステージとして、物販などよりショッピングセンターやネットに代替されにくく競合が少ない市場といわれる「ナイトタイムエコノミー」を推進すべきでないか。 複数で時間を共有する飲食は、人数を集めることが可能。100人のお客さんを持っている店を10軒集められれば、その場所の固定ユーザーが1,000人いることになり、新規で店を出したい人もそのエリアで出店したいと考えるようになる。 原材料も地元産を推奨することで、生産者も収入が増え、結果そこの家賃や地価も上がる。雇用も増え、市民税、固定資産税収入も増加する好循環が生まれる。 連携中枢都市構想が検討される中、他の嶺北市町との差別化や、中心都市とも違う、ライトアップされた城がある大野市特有で、近隣市町から越美北線等の移動の経費を掛けてでも定期的に訪れたいナイトタイムエコノミー推進が必要ではないか。</p> <p>○ これまでの観光、今後の観光関連政策でナイトタイムエコノミーとの連携を検討したことはあるか。</p>
		<p>2 小学4年生85%、保護者72%が効果を実感した英語コミュニケーション能力育成プランについて</p> <p>○ 滋賀県守山市では、外国人指導助手が、幼稚園においては日常保育の中で、小学校においては、授業時間を使った学習以外に、朝の活動や休み時間、給食や掃除の時間などの学校生活において、歌やゲーム、体操や本の読み聞かせなどの活動の中で英語や外国の人になれ親しみ、小学校5年生から本格的に始まる外国語活動の学習にもスムーズに移行できるよう「ハローイングリッシュプロジェクト」を実施している。 幼少期の柔軟な適応力を生かして、英語や外国文化になれ親しみ、国際化時代に対応するための人材育成を図ろうとする先進的な取り組みであり、大野市でもグローバル化時代に羽ばたく子どもたちの育成のために取り組むべきではないか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
梅林（天空おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 地下水の保全と湧水文化の再生</p> <hr/> <p>○ 「地下水保全管理計画」「越前おおの湧水文化再生計画」は、昭和50年代の地下水位を目標値として策定されている。目標達成により、自然環境や市民生活はどのようによくなるのか。</p> <p>○ 現在協議中の（仮称）水循環・湧水文化再生計画では、「湧水文化再生計画」を発展させること、新に森林や農地を含めた計画にすることで目的達成に向けてこれまで以上に期待される。</p> <p>そこで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「越前おおの湧水文化再生計画」短期事業においてどのような検証を行ったのか。また大野市水循環・湧水文化再生推進連絡協議会の評価は。 ・森林、農地の持つ地下水かん養能力強化に向けて、どのような取り組みをしていくのか。 <p>○ 御清水近隣の公共下水道整備工事による地下水への影響はないのか。</p>
		<p>2 豊かな心を育てる文化力の育成について</p> <hr/> <p>○ 大野市出身の先人たちの偉業を、学校教育の中で子どもたちにどのように伝えているのか。また社会教育の中で、市民にどのように伝えているのか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
畑中（天空おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 第2恐竜博物館（仮称）等について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県の第2恐竜博物館の建設計画はいつごろ出たのか。そのときわが市の考えはどうだったのか。建設計画の現在の見通しはどうか。 ○ 化石発掘体験センターの使用料金はどのような根拠で1時間、中学生以下500円、高校生800円、一般1,000円となるのか。 勝山恐竜博物館の入場料は、小中学生260円、高大学生410円、一般720円、70歳以上無料となっている。 ○ 化石発掘体験と誘致できた場合の第2恐竜博物館の観覧は、セットで誘客すると考えると、誘致できなかった場合の和泉角野の体験センターは、建物ありきで成果があまり期待できないのではと心配するが、完成後の入り込み見込み数はどう設定しているのか。
		<p>2 有害鳥獣対策について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今議会の補正予算案に鳥獣害のない里づくり推進事業として5,400万円計上されているが、本市の有害鳥獣の種類は。また過去の統計による推定有害鳥獣の生息数と年度ごとの駆除数は。 ○ 有害鳥獣による被害はどのようなことがあるのか、被害の調査結果を公表されたい。 ○ 出没する前の対策はどうしてきたか。その方策と効果はどうだったのか。 ○ 現状の処理処分方法はどのようにしているのか。また問題点は何か。 ○ 有害鳥獣分解処理装置の設置場所や運営主体と処理フロー及びメリットについて